



はらぺこあおむし

エリック=カール さく
もりひさし やく
借成社

カル

あたたかい日曜日の朝、たまごからちっぽけな
あおむしが生まれました。あおむしはお腹がぺっ
こぺこ。月曜日、りんごを一つ食べました。火曜日、
なしを二つ食べました。土曜日、ついにお腹が痛
くなって……。展開がおもしろい、穴の開いたし
かけ絵本です。



はろるとどむらさきのくれよん

クロケット=ジョンソン 作
岸田杢子 訳
文化出版局

シヨン

はろるとどは、むらさきのクレヨンを持って歩きだ
しました。はろるとどのクレヨンは、はろるとどの思い
のまま、次から次へと新しい世界を作りだしてい
きます。冒険に出たはろるとどが眠くなり、ベッドへ
入るまでをむらさき一色でつづります。



ぼく、お月さまとはなしたよ

フランク=アッシュ えとぶん
山口文生 訳
評論社

アツシ

クマくんは、お月さまを見て思いました。お月さ
まの誕生日に贈り物をあげたいな。でも、誕生日
はいつだろう?なにをあげたらいいかしら?そこ
でクマくんは木に登り、お月さまに話しかけました。
でも……。



ぼくしんかんせんにのったんだ

わたなべしげお さく
おおともやすお え
あかね書房

オオト

くまたくん一家は新幹線に乗って、遊びにいく
ことになりました。ホームで待っている時のドキド
キワクワクする気持ち。窓から見える景色や、す
れ違う列車。社内で食べるお弁当……。さあ、くま
たくんと一緒に、新幹線に乗ってみましょう。



ピーターのいす

E=ジャック=キーツ さく
きじまはじめ やく
借成社

キツ

ピーターに妹ができました。両親は妹にかかり
きりです。さみしくなったピーターは、幼い頃に使
った青い椅子を持って家出をします。けれども、
そのいすに座れないほど大きくなった自分に気づ
き、兄の自覚が生まれます。子どもの心のゆらぎ
と成長を描きます。



びかくんめをまわす

松居直 さく
長新太 え
福音館書店

チヨウ

信号機のびかくんは、朝早くから働いています。
あお・き・あか・あお・き・あか……みんなびかくん
の色を見て、止まったり進んだりします。ところが、
あんまり忙しくて、びかくんは目をまわしてしま
いました。あか・き・あか?あお・き・き……??



ぼくのくれよん

長新太 おはなし・え
講談社

チヨウ

こんなくれよんで、絵を描いてみたいな。そう
のくれよんは、とても大きなくれよん。青で描い
たら、カエルが池とまちがえてとびこんじゃった。
でも、まだまだ描きたいんだ。今度は何色を使
うかな?



もこもこもこ

たにかわしゅんたろう さく
もとながさだまさ え
文研出版

モトナ

舞台のはじまりは、画面に広がる青い空と紫の
地面、そして「しーん」という言葉だけ。地面の一
部分が、「もこ」っとまあるく盛り上がります。「もこ
もこ」や「によきによき」などの言葉を、美しい絵
で表現しています。

ちょっとひとやすみ ③

3歳ぐらいになると、子どもの活動範囲が広がります。それと同時に、楽
しめる絵本も多くなっていきます。主人公を自分と置き換え、一体化する作
業ができるようになると、絵本の世界に入り込み、物語をたっ
ぷり楽しむことを覚えます。耳から**リズムカルな言葉**を聞
き入れ、目からは**その場面を的確に語っている絵**を読み
取っています。さあ、じっくり楽しみましょう。



ピッツアぼうや

ウィリアム=スタイク 作
木坂涼 訳
セーラー出版

スタイ

友だちと外で遊ぶと思っていたのに、雨が降
ってきてしまいました。ピートはごきげんななめ。
そんなピートを見て、お父さんはいいことを思い
つきました。ピートでピッツアを作ろう! さあ、テ
ーブルにのせて、こねて、引っばって……。



へびのクリクター

トミー=ウンゲラー 作
中野完二 訳
文化出版局

ウンケ

ポドさんは、誕生日のお祝いにももらったへびに、
クリクターという名前をつけました。ふたりはい
つも一緒です。散歩に出かけたり、学校へ行って
勉強したり、子どもたちと遊んだり。親切で、勇敢で、
ゆかいなクリクターは、みんなの人気者です。